

**令和5年**  
**公認会計士論文式試験**  
**【解答速報】**  
**経営学**  
**第1問・第2問**

本解答は令和5年8月24日15時に学校法人大原学園が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、本解答は学校法人大原学園が独自の見解で作成・提供しており、試験機関による本試験結果等について保証するものではありません。

本解答の著作権は学校法人大原学園に帰属します。無断転用・転載を禁じます。

第1問 答案用紙<1>  
(経営学)

問題 1

問 1 a 形式知      b SECI      e 連結化

c ④      d ⑥      f ③

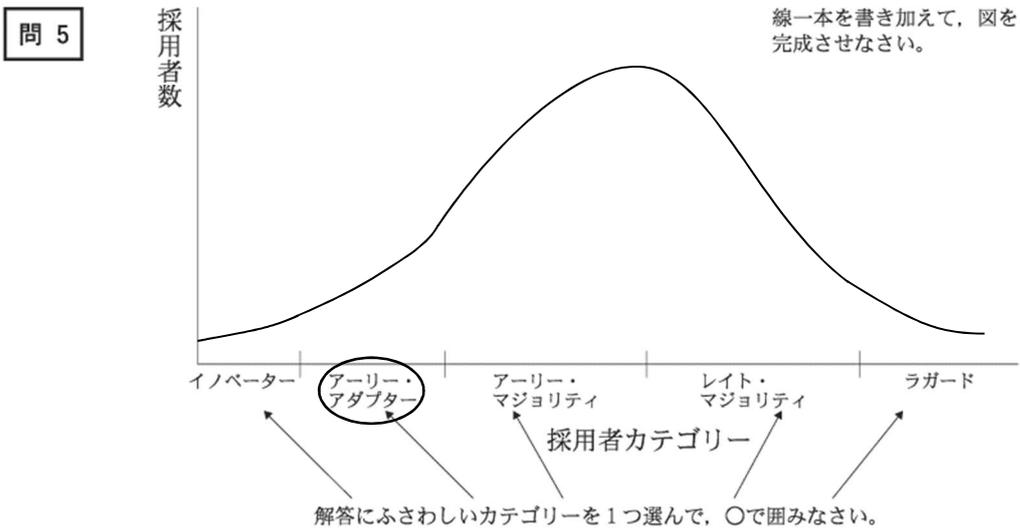
問 2-1 g 産学連携      h ベンチャー      i アントレプレナー

j エンジェル      k 流動

問 2-2 ③

問 3 オープン・イノベーション

問 4 ②



問 6 若い企業はデジタル化された情報を主軸に、初期投資を抑えた事業展開をすることが多い。このような情報財は複製等が容易で、限界費用も著しく低い。そのためICTの発達により、グローバル展開しやすくなった。

第1問 答案用紙<2>  
(経営学)

問題 2

問 1

A 機械

B テクニカル・コア

問 2

① ④

問 3

④

問 4-1

③

問 4-2

② ③ ⑤ ⑧

問 5

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| シ | ン | グ | ル | ・ | ル | ー | プ | 学 | 習 | は | 、 | 既 | 存 | の | 枠 | 組 | み | の | 中 |
| で | 行 | う | 修 | 正 | ・ | 学 | 習 | 活 | 動 | で | あ | る | の | に | 対 | し | 、 | ダ | ブ |
| ル | ・ | ル | ー | プ | 学 | 習 | は | 、 | 既 | 存 | の | 枠 | 組 | み | を | 超 | え | て | 行 |
| う | 学 | 習 | 活 | 動 | で | あ | る | 。 | 抜 | 本 | 的 | な | 変 | 革 | を | 進 | め | る | に |
| は | 、 | 既 | 存 | の | 枠 | 組 | み | に | 固 | 執 | す | る | こ | と | な | く | 、 | あ | え |
| て | こ | れ | を | 棄 | 却 | し | 、 | 新 | た | な | 枠 | 組 | み | を | 構 | 築 | す | る | こ |
| と | も | 必 | 要 | に | な | る | た | め | 、 | ダ | ブ | ル | ・ | ル | ー | プ | 学 | 習 | の |
| 方 | が | よ | り | 重 | 要 | で | あ | る | と | 考 | え | ら | れ | る | の | で | あ | る | 。 |

第2問 答案用紙<1>  
(経営学)

問題 1

問 1 - 1      才

問 1 - 2      ③      ウ  
④      ア

問 1 - 3      ウ

問 2 - 1      1,028      億円

問 2 - 2      477.70      億円

問題 2

問 1 - 1      15      %

問 1 - 2      イ

問 1 - 3      才

問 2 - 1      エ

問 2 - 2      イ

問 2 - 3      (1) 配当 :      イ

(2) 自社株買い :      才

第2問 答案用紙<2>  
(経営学)

問題 3

問 1 - 1 11.00

問 1 - 2 15,125.86 円

問 2 - 1 (ア) ⑤

問 2 - 2 (イ) 80 %

問 3 - 1 97 %

問 3 - 2 30 百万円

問題 4

問 1 - 1 (ア) 9,900 円

問 1 - 2 1,590 円

問 1 - 3 708.42 円

問 2 - 1 9,801 円

問 2 - 2 右のいずれか正しい方を○で囲むこと： 権利行使する 権利行使しない  
-----  
オプション価格： 1,590 円

問 2 - 3 878.01 円

# 令和5年公認会計士論文式試験 大原の“大当り”ズバリの的中(速報)

## 経営学的的中問題をご紹介します！

### ■令和5年論文式試験 選択科目(経営学) 第1問 問題2 問4

問4-1 E. シャインによる組織文化の多層性に関して、次の文章の空欄(イ)(ロ)(ハ)にそれぞれ当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①~⑥の中から一つ選びなさい。

組織文化には3つのレベルがある。第1のレベルが(イ)であり、これは最も目に見えやすい。第2のレベルが(ロ)であり、目に見えるものと目に見えないものを含んでいる。そして第3のレベルが(ハ)であり、組織の大半のメンバーがこれを当然視しているという意味で最も目に見えにくい。

- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| ① (イ)一価値    | (ロ)一基本的前提 | (ハ)一人工物   |
| ② (イ)一基本的前提 | (ロ)一人工物   | (ハ)一価値    |
| ③ (イ)一人工物   | (ロ)一価値    | (ハ)一基本的前提 |
| ④ (イ)一価値    | (ロ)一人工物   | (ハ)一基本的前提 |
| ⑤ (イ)一人工物   | (ロ)一基本的前提 | (ハ)一価値    |
| ⑥ (イ)一基本的前提 | (ロ)一価値    | (ハ)一人工物   |



## ■資格の大原 2023 年合格目標論文基礎演習 第 1 回 問題 2 問 1

**問題 2** 次の文章を読み、以下の**問 1**～**問 3**に答えなさい。

：

E. H. シャインは、『組織文化とリーダーシップ』という書籍の中で、組織文化の理解・解読には、3つのレベルがあることを示した。まず、第1のレベルとして、**B**が挙げられる。これはオフィスのレイアウトなど、目に見えやすく表面的なレベルである。エピソード記述主義による組織文化論は、多くの場合、このレベルの議論にとどまっている。第2のレベルとして**C**が挙げられる。これは、第1のレベルの**B**が体現している意味に該当し、<sup>(ア)</sup> 経営理念や社是・社訓という形で文章化され、可視的な場合もある。これらに比べて、より深く、かつ不可視的で解読が難しいのが第3のレベルの**D**である。これは、組織の大半の成員がもはや当然のことと思ひ、疑問視することのなくなった発想法などが該当する。